

インタビュー	P.1
次世代に期待され、選択される大学へ 鶴見大学の学長に就任して想う 鶴見大学学長 大山喬史氏	
★資料	P.5
文部科学省「私立大学等経営強化集中支援事業」 平成28年の選定校を平成29年3月7日公表	
★神奈川大学他、次世代に適応する環境対応型キャンパス(木・木質)...	P.6
高等教育機関・私学などにも木造、木質の普及へ	
★NEWS	P.10
○専門職大学・専門職短期大学を制度化	
○高等教育の将来について検討が始まる	
○千葉大学・東京23区の大学未設置区へ進出	
○千葉大学教育学部・大手IT企業GREE(グリーン)と協力	
○近畿大学 東大阪キャンパス 新エリア	
★気になる光熱費、効果的なエネルギー料金の削減方法とは?	P.12

# Campus Management Report21

No.8

キャンパス マネジメント リポート 21

## インタビュー

次世代に期待され、選択される大学へ

## 鶴見大学の学長に就任して想う

私は本学の特色でもある仏教、特に禅の教えに基づき、心豊かで、知育に優れた人材の育成と人間教育に力を入れた「人間力」の育成に努め、大学の運営については、現場の教職員や学生たちが力を発揮でき、学び、研究できる「場や器」をつくることこそ学長としての仕事であると考えています。



鶴見大学  
大山喬史氏

### 心の修養とそのための支援・環境づくりをめざして

桜花爛漫の中、曹洞宗大本山總持寺内にある本学での入学式が行われ、4月に学長に就任したばかりの私は、以下のような話をし、新入生にエールを送りました。

「これまで、人類はみずからの智によって優れた技術を生み出し、物理的な繁栄をもたらしてきました。もちろん、本学でも何事も鵜呑みにせず常に疑問を抱き、自らが問題を見出し、自らの力で解決する能力、想像力を身に付けた、そして社会に貢献する人材の育成を目指しています。しかし、一方で、日本でも長きにわたる歴史の中で培ってきた伝統的な精神文化、他者に対する深遠な思いやりの心や広く社会のために尽くそう

とする高邁な精神を見失ないがちのように思えてなりません。自然破壊が進み、地球そのものの存続すら懸念される今こそ、原点に立ち戻り、これを深く反省し人として生を受けたことに感謝し他人(ひと)や自然、万物との慈愛に満ちた共生に努めなければなりません」

そして、「知識や教養、技術を教えることはできても、心を教えることはできないと云いますが、鶴見大学では、こうした心の修養とそのための支援、環境づくりに誠心誠意務める」決意を述べました。

御承知の通り、鶴見大学は、曹洞宗の大本山である總持寺が設立した大学であり、しかも、大学のキャンパスの大半が本山の境内にあり、大学と本山は、文字通り一体的な関係にあります。大学の理念は、本学の創設に深くかかわられました中根環堂

先生が「大覚円成 報恩行持」の二句八字で示されましたが、これは、「感謝を忘れず真人となる」「感謝の心を育んでいのち輝く人となる」ことを意味しています。

こうした特色を生かし、本学では仏教、とくに禅の教えに基づき、心豊かで、知育に優れた人材の育成と人間教育に力を入れてきました。

私が、今年の入学式で強調したかったのも、こうした「人間力」ともいふべき目標を掲げて、勉学につとめてほしい、という点でした。

教授職26年、理事職3年を経て、東京医科歯科大学の学長を二期務めました。大学の運営には人一倍注力してきました。「人知らずして、組織なし」といわれますが、東京医科歯科大では、研究、教育、国際交流の担当理事に加え、財務担当理事による意思決定機関を設け、さらに学部、